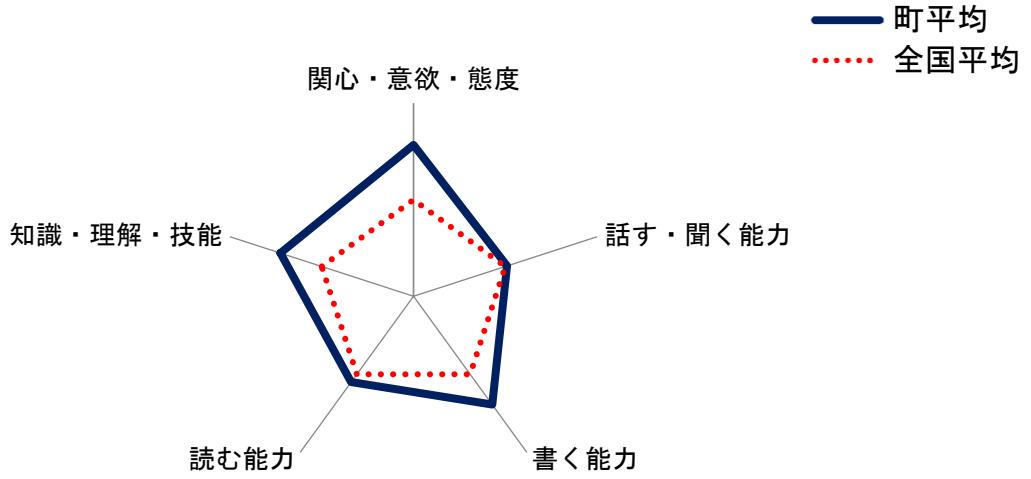
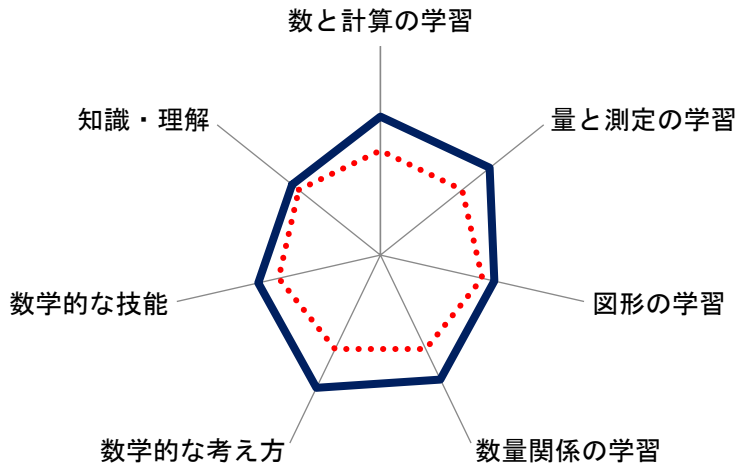


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

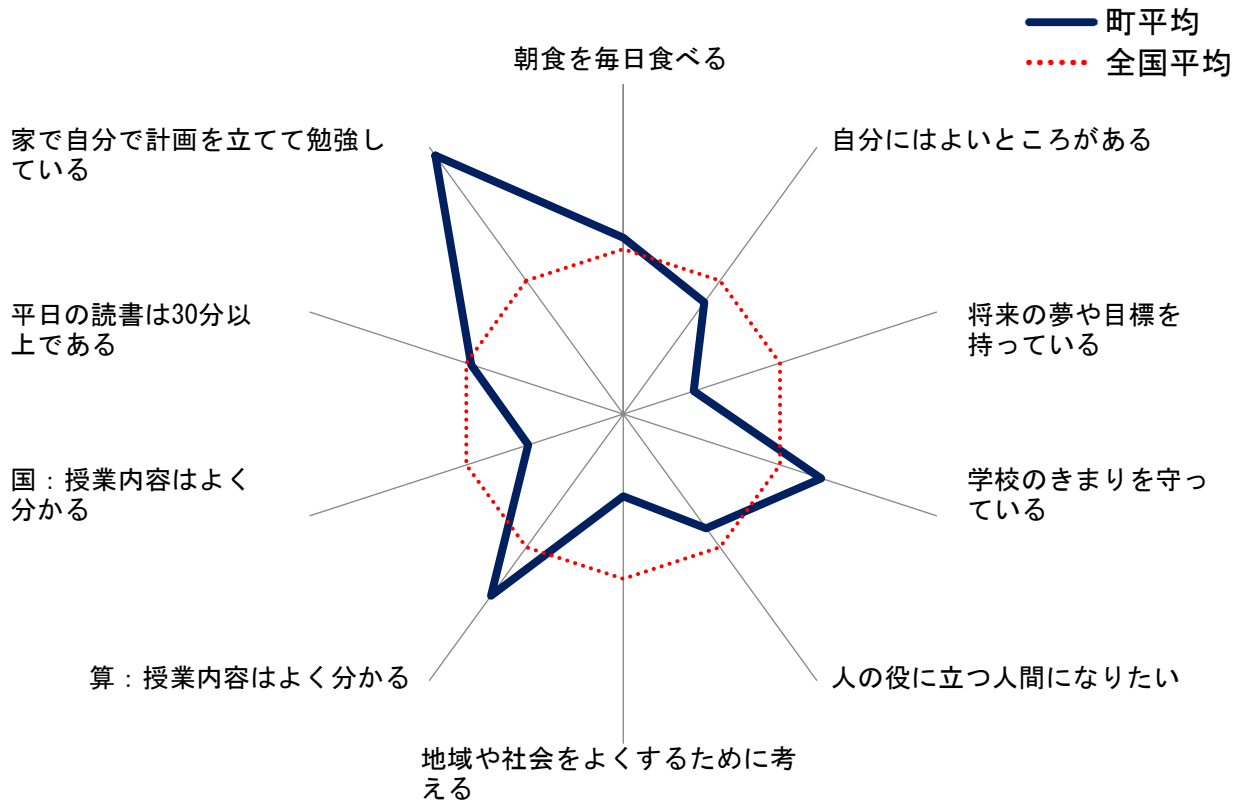
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数ともに全国平均を大きく上回っている項目が多く、結果はきわめて良好である。国語は「知識・理解・技能」の項目が昨年度は全国平均を下回っていたが、今年度は上回っており改善が見られる。今後も、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな指導を継続することで、知識と活用を一体的に捉えた学力を育成していくことが望まれる。

児童質問紙調査では、「朝食を毎日食べる」、「家で自分で計画を立てて勉強している」の各項目が全国平均を上回っており、基本的な生活習慣が確立されている。しかし、昨年度に引き続き、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたい」の各項目が全国平均を下回っている。今後は、肯定的な言葉掛けを継続して行うなど、自尊感情を高める取組を学校、家庭、地域が一体となって行うことが望まれる。